

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：6年 2月 1日

事業所名：てらす森松

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
 評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	100%			状況に応じて、個別のスペースを確保したり、レクリエーションに合わせて配置を変えたりするなどしている。	100%					
	2 職員の適切な配置	75%	25%			64%			36%		職員の配置指定基準を満たした職員数を配置している。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	100%			バリアフリーとなっている。	86%			14%		
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	100%			朝と帰りの掃除、消毒をして清潔に過ごせるように努めている。また、子どもたちにも来所時には必ず手洗いをしてもらっている。	79%			21%		継続して心地よく過ごせるように生活空間の確保に努める。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	100%			月に一度担当者会議を行い、職員間での情報共有に努めている。						
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	25%	75%								
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	100%			事業所内での勉強会、研修を行っている。						
適切な支援	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	100%			親御さんとの対話や、連絡ノートを通じて、ニーズの聞き取りをし6ヵ月ごとに個別支援計画の作成をしている。	100%				こちらの要望を聞き、しっかり取り入れてもらっています。	今後も継続して情報共有を行っていく。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	100%			目標設定や、支援内容については職員間で話し合いをし情報共有した上で記載している。	100%					

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ		わからない	保護者の方のご意見
の 提 供	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成				個々に寄り添った活動(制作や、簡単な作業の練習)や毎日のレクレーションで集団活動が出来るように組んでいる。それをもとに作成している。						

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
関係機関との連携（続き）	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	100%									
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	100%			移行支援として、様子を伝えている。						
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	100%									
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	100%			研修の機会があれば参加するようにしている。						
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供			100%			7%	14%	79%		検討していく。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営			100%	検討中。						
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	100%			利用者負担等については契約時に細かく話している。支援の内容については、連絡ノートや対話にて伝えている。	100%					継続して丁寧な説明を行う。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	100%			署名をいただく前に説明をしている。担当の職員以外が署名をいただく際は手紙を添えて内容の細かい説明を行っている。	100%					継続して丁寧な説明を行う。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	50%	50%				36%	21%	7%	36%	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	100%			保護者との対話や連絡ノートにて情報共有をしている。	86%	14%			毎回連絡ノートでやり取りしてもらっています。	継続して、普段から対話や連絡ノートでのやり取りを行い、情報共有を行う。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	100%			保護者との対話や連絡ノートにて情報共有をしている。	71%	21%		7%		継続して、適切な対応と必要な助言を行う。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援		25%	75%					36%	64%	希望される方がいれば、検討していく。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	100%			職員間で話し合いをして迅速に対応するようにしている。	36%			64%	そのような時がないので分かりません。	苦情があった場合は迅速かつ適切な対応が取れるように体制を整える。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	100%				93%			7%		継続して行う。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	25%	75%		会報は企画中であるが、活動内容や行事予定など連絡ノートや対話にて行っている。	36%		14%	50%		行事予定や連絡ノートだけではなく、SNSを通じた活動の発信等を行っていく。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	100%			契約時に説明を行い、管理を徹底している。	100%					継続して、取扱いに関して徹底した管理を行う。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	100%				71%			29%		SNS等での情報発信を行う。また、保護者の目の付く所にマニュアルを掲示し、いつでも見えるようにしておく。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	100%			消防署見学を通し、訓練をしている。また事業所での避難訓練を実施している。	64%			36%		継続して避難訓練等の実施を行う。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
非常時等の 対応（続き）	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	100%			勉強会を行っている。						
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	100%									
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	100%									
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	100%			作成した場合は、職員間での情報共有を行っている。						

